

令和7年8月28日

令和6年度 特別の教育課程の実施状況等について

| 大阪府            |              |       |
|----------------|--------------|-------|
| 学 校 名          | 管理機関名        | 設置者の別 |
| 大阪教育大学附属天王寺小学校 | 国立大学法人大阪教育大学 | 国立    |

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

| 学 校 名          | 特別の教育課程の編成の方針等の<br>公表 URL                                                                       |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 大阪教育大学附属天王寺小学校 | <a href="http://www.tennoji-e.oku.ed.jp/research/">http://www.tennoji-e.oku.ed.jp/research/</a> |

※必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

| 学 校 名          | 自己評価結果の公表 URL                                                                                             |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 大阪教育大学附属天王寺小学校 | <a href="http://www.tennoji-e.oku.ed.jp/school/guides/">http://www.tennoji-e.oku.ed.jp/school/guides/</a> |

※必要に応じて行を追加すること。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

|                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div><div>・計画通り実施できている</div><div>・一部、計画通り実施できていない</div><div>・ほとんど計画通り実施できていない</div></div> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

|                                                  |
|--------------------------------------------------|
| <div><div>・実施している</div><div>・実施していない</div></div> |
|--------------------------------------------------|

### ＜特記事項＞

年度初めの４月に学校集会にて特別の教育課程に関する説明を行っている。  
また、９月には、保護者・児童の任意参加の防災宿泊訓練を行い、防災教育の啓発を進めている。

## 3. 実施の効果及び課題

### （１）特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例は、「ぼうさい科」の新設により、防災教育を全学年のカリキュラムに系統的に組み込むことを目的としている。令和２年度から始まったSTEAM教育のカリキュラムの中に防災教育を位置づけ、各教科との関連性を強めることを目指している。この取り組みの一環として、今年も２月に対面方式で研究発表会を行い、「ぼうさい科の授業実践」を全国に発信した。この発表を通じて、防災教育の意義について参加者の理解が深まった。しかし、課題としては学校組織体制の整備、他教科との有機的関連、及び教員の意識向上が挙げられる。今後は、これらの課題に対処し、防災教育の充実をより広い観点から図ることが重要であると考ええる。

### （２）学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本校の「ぼうさい科」は、学校教育目標「個が生きる学校」の理念に基づき、個々の児童の特性を伸ばす工夫を凝らした実践的かつ体験的な防災教育の充実に努めている。教職員の防災意識が高まり、校内では備蓄用品の整備や危険箇所の点検が日常的に行われている。特に、今年度も実施した「防災宿泊訓練」は、教員の個々の判断力を鍛える重要な機会となっている。この訓練を通じて、スピーディで適切な判断を行う力が育まれ、教員間の連携力や保護者とのコミュニケーション能力も向上している。これらの取り組みは、児童だけではなく、保護者、教職員の防災知識やスキルを高め、個々の力を生かす教育に寄与している。

## 4. 課題の改善のための取組の方向性

本校では、過去６年間にわたり、カリキュラムの中に「ぼうさい科」を位置づけてきた。令和６年度も、設定したカリキュラム計画に基づき防災教育の実施を順調に進めることができた。今後は、STEAM教育の推進にも力を入れ、ぼうさい科との関係をさらに整理し、より一層の連携を図ることが課題として挙げられる。

具体的には、STEAM教育のカリキュラムをより明確化することで、「ぼうさい科」の取り組みを広く周知し、理解を深めることが期待される。これにより、児童が科学、技術、工学、アート、数学と防災を結びつけ、実践的な問題解決能力を向上させることが可能になると考える。また、地域との連携を強化し、実地訓練を通じて学びを深化させることで、個々の力を最大限に発揮できる環境を整えることも重要である。次年度からは「ぼうさい科」を発展させたSTEAM教育を進め、実践的な学びの場を提供していきたい。